

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市障害者福祉センター神南備園
(2) 指定管理者	所在地 津山市瓜生原 326-1 名称 社会福祉法人 千寿福祉会 代表者 理事長 小林 和彦
(3) 公の施設の所管部署	津山市環境福祉部社会福祉事務所障害福祉課
(4) 指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日
(5) 評価対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

## 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間福祉サービス利用者延数	4,013 人	(前年 3,829 人)
	内 生活介護	3,085 人	(前年 2,997 人)
	共生型通所介護	587 人	(前年 540 人)
	日中一時支援	341 人	(前年 292 人)
	年間入浴サービス利用者延べ数	1,671 人	(前年 1,537 人)
	貸館利用者延数	3,077 人	(前年 3,692 人)
(2) 事業の内容	指定生活介護事業・共生型通所介護・日中一時支援事業・計画相談支援事業・貸館事業・生活困窮者就労訓練事業		

## 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	54,771 千円
	指定管理料	12,731 千円
	事業収入	40,649 千円
	利用者負担金収入	1,365 千円
	その他の収入	26 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	54,430 千円
	人件費	37,529 千円
	共済費	6,589 千円
	需要費	5,711 千円
	役務費	1,348 千円
	その他支出	3,253 千円

## 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	令和4年2月に利用者の満足度アンケートを実施し、今後の事業推進に参考としている。
(2) 指定管理者の自己評価	当年度は、コロナ禍の中、昨年以上の利用者数があったが、施設において新型コロナ感染者が発生し、休業を実施したことに加え、人件費支出も増大したことから、事業収入の増加があったものの、昨年度と比較し収支は大きく減少した。また、貸館利用者についても緊急事態措置やまん延防止等重点措置の度重なる発令があり利用者数が減少した。
(3) 市の評価	<p>当年度は新型コロナウイルス感染症への感染者が発生し、一時的に休業をする等、コロナ禍の影響を受ける環境にあったが、共生型通所介護の制度周知の浸透を図ることで利用者数は堅調に増加する中、施設の修繕も実施し、利用者の安全や快適のための環境整備を進める等、指定管理者の経営努力がうかがえる。</p> <p>また、利用者アンケートによる結果では、施設の雰囲気や職員対応に関する項目の満足度は高く、指定管理者による職員教育の充実等による効果が認められる。</p>